

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	専攻実技2	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	ヴォーカリストコース	開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	演習
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する				
担当教員情報					
担当教員	金澤法皇、末光篤		実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン	
学習目的					
音楽理論の基礎をしっかりと身につける。記号の書き方、音符の長さなどの基本から、スケール、音程までは最低でもしっかりと理解し、楽譜をきっちりと読めるようにする。また、自身の曲を書く学生は、自身の曲の譜面を書けるようにする。					
到達目標					
様々な基本用語を覚え、実際の実習で活かせるようにする。また、様々な手法を駆使して、自身のオリジナル楽曲にいかせるようにする。既存曲も自身で楽曲分析を出来るようにする。					
教育方法等					
授業概要	なるべく少人数制のグループで授業を進めていく。授業開始には必ず復習の小テストを行い、何度も繰り返し行う事によって、徹底して理解させる。				
注意点	理解度の高い学生と、そうでない学生との差が大きいため、上手くそれぞれに合わせた授業内容で進めていく。理解できていない学生には別途、個人レッスンをおこない、とりこぼしのないように進めていく。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	30%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	30%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	ダイアトニックコード1		Cを中心にしたダイアトニックコードの習得		
2回	ダイアトニックコード2		ダイアトニックの機能について理解する		
3回	ダイアトニックコード3		ダイアトニックとスケールとのかかわりについて理解する		
4回	ダイアトニックコード4		スケール上のコードネームについて理解する		
5回	ダイアトニックコード5		ディグリーについての理解		
6回	ダイアトニックコード6		G,Dの#2つまでのダイアトニックコードを理解する		
7回	コードの理解1		Cキーにおける3和音を中心にしたコードの理解		
8回	コードの理解2		G,Dの#2つ、F、B♭の♭2つまでのコードの理解		
9回	コードの理解3		A,Eの#2つ、E♭、A♭の♭2つまでのコードの理解		
10回	コードの理解4		cを基準にした4和音を中心にしたコードの理解		
11回	コードの理解5		セブンス、メジャーセブンスコードの理解		
12回	コードの理解6		ダイアトニックコードにおける4和音の理解		
13回	ダイアトニックコード2		コードを理解したうえで再度ダイアトニックの確認		
14回	ダイアトニックコード2		#♭5つまでのダイアトニックの確認		
15回	まとめ		前期のまとめテスト		